

経営比較分析表（平成28年度決算）

和歌山県公立那賀病院経営事務組合 公立那賀病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	21	対象	ド透訓ガ	救臨が感災輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	22,708	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
300	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	4	304
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
259	-	259

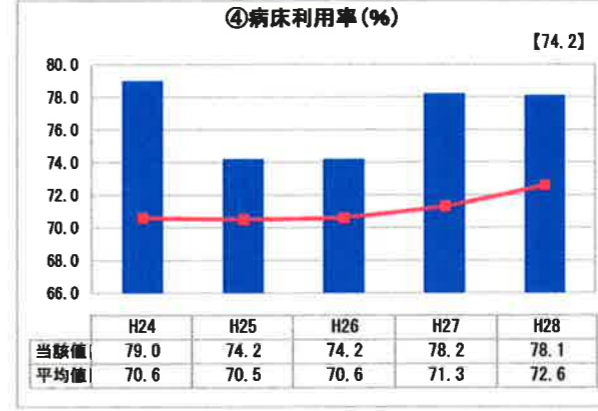
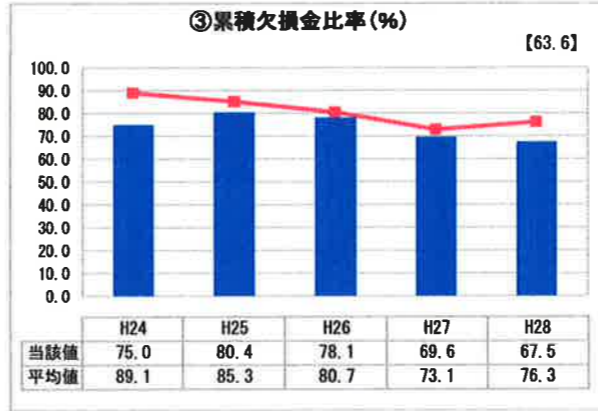
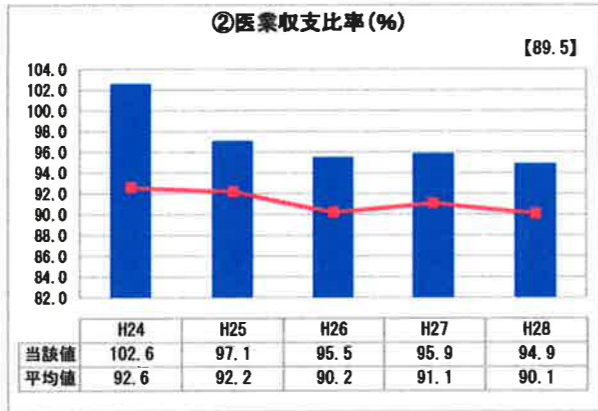
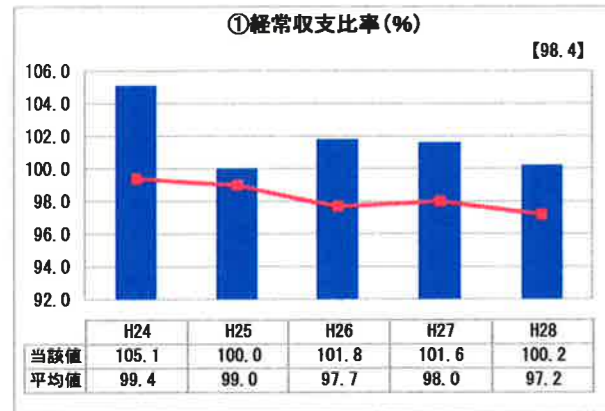
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- [] 平成28年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

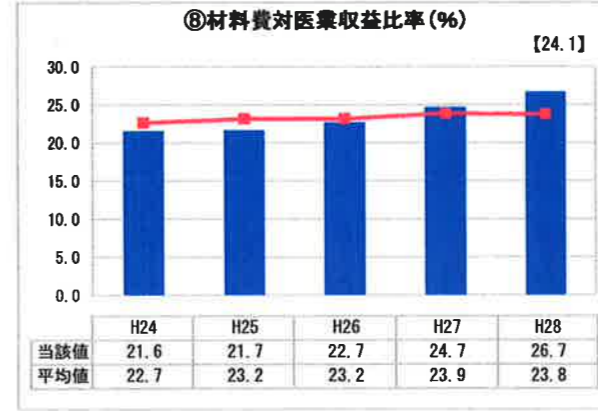
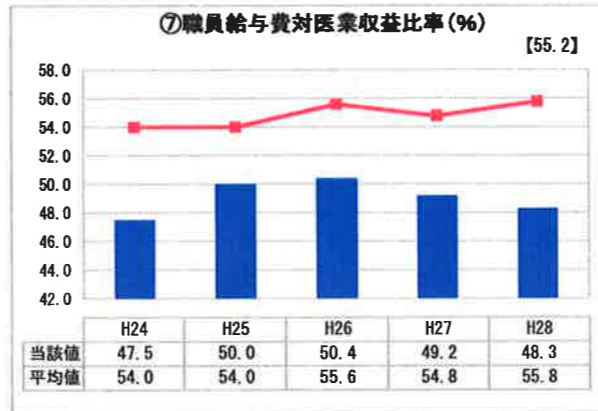
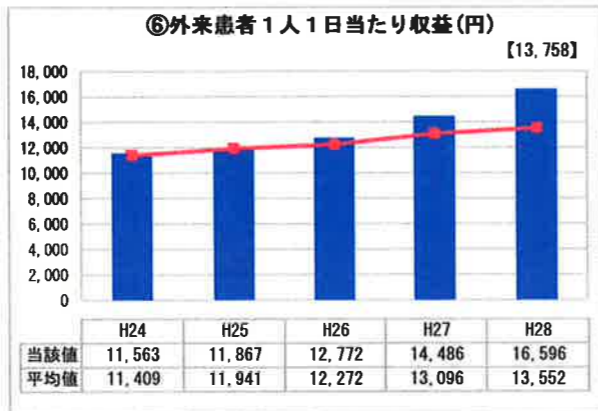
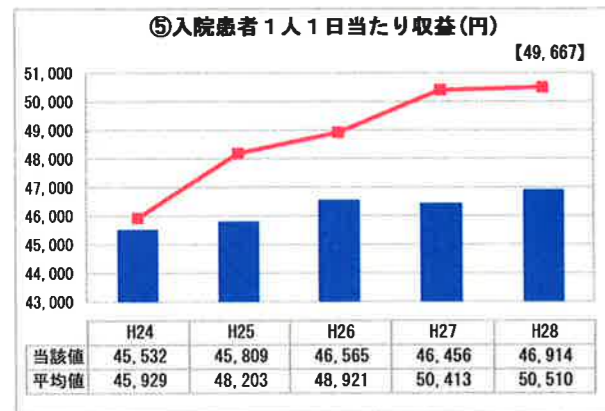


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



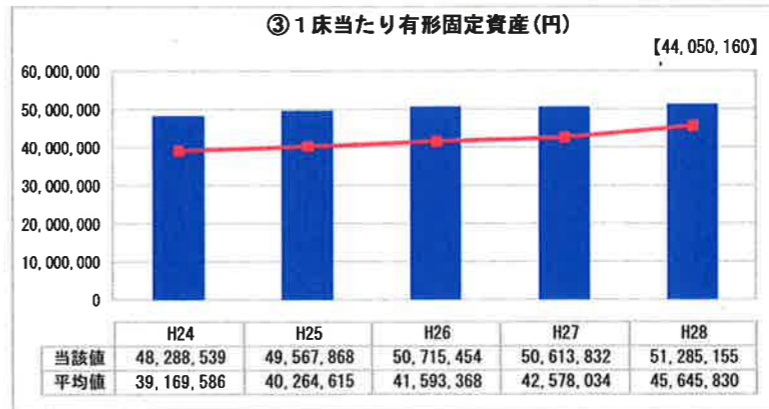
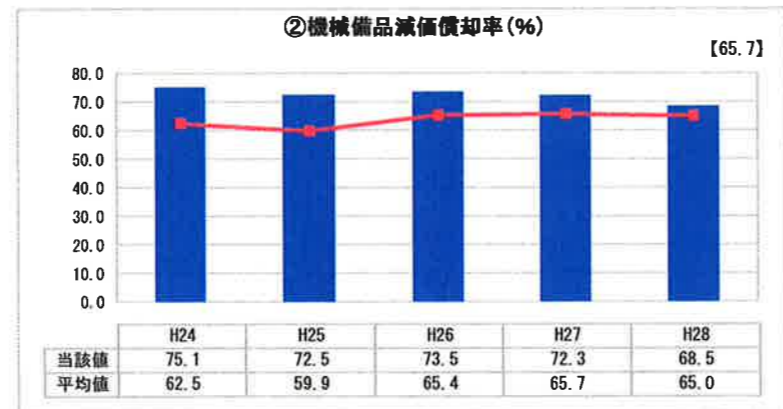
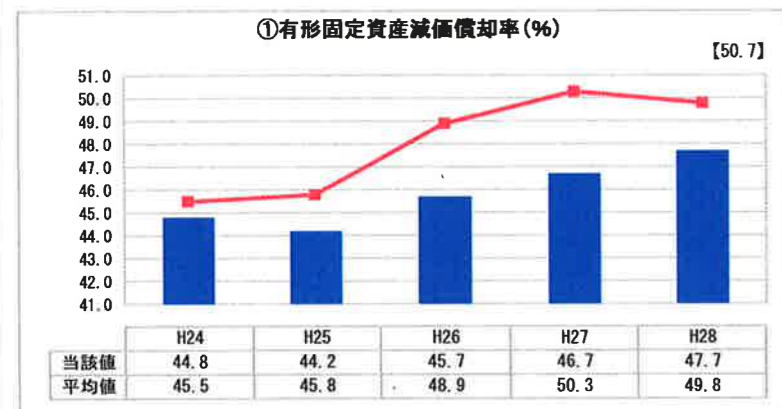
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

那賀保健医療圏における基幹病院として、高度医療・救急医療の提供に努めている。また地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院など地域における様々な拠点病院としての責務も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病院経営の主要指標である経常収支比率、医業収支比率、病床利用率において平成24年～28年度において当院は全て平均値を上回っており、健全性・効率性を確保出来ている状態であると考えている。様々な要因がある中で平均値を下回っている指標もあるので改善できるように努めていく。

2. 老朽化の状況について

老朽化の指標については、概ね平均値近辺にあり平均的な状態にあると考えている。診療報酬が下がる傾向にある中で設備・医療機器等への大きな投資は困難ではあるが、最適な医療環境を提供できるよう計画的な投資の実施に努めていく。

全体総括

経常黒字を平成22年度より継続していることもあり、総合的に平均値を上回っており、病院としての様々な取組が結果として表れていると考えている。しかし病院を取り巻く環境は厳しさを増しているため、今後も安定した経営を継続していただけるように努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。